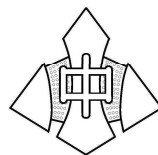


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

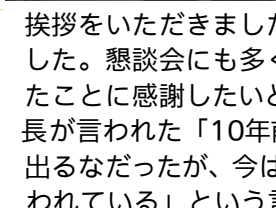
- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年12月10日（木）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

“学び合う姿”を披露!! 今年度最初の授業参観

12月4日（金）には、12月にして初めて今年度最初の授業参観を実施しました。市内小中学校では、時間差や日にちを替えての実施だったり、授業参観は実施せず学年懇談会だけを実施する学校などが多いようですが、事前の健康状態のチェックや当日の感染症対策を講じれば、通常の形での実施は可能と考えました。



保護者の方々には事前にメールやHP等でも重ねて協力をお願いしました。換気により寒い中での参観となった場所もあったと思いますが、感染症対策にご協力いただきながら多くの保護者の方々に来校していただくことができました。各種たよりやHP等で学校の様子を伝えてきたところですが、やはりその場で生徒の学び合う姿を実際に観ていただくことは、とても意味のあることだと感じました。授業参観の後は学年懇談会が行われました。3年生は修学旅行説明会と友誼祭でお話できましたが、1年生は入学式以来、そして2年生では、「こんな時期となりましたが、はじめまして…」という挨拶から話をさせていただきました。伊野PTA会長も学年毎に挨拶をいただきましたが、就任して初めての挨拶となりました。懇談会にも多くの保護者の方々に参加していただいたことに感謝したいと思います。伊野会長との会話の中で会長が言われた「10年前の震災時は（放射線の影響から）外へ出るなだったが、今は逆に外の方が安全で密を避けろと言われている」という言葉が印象に残りました。



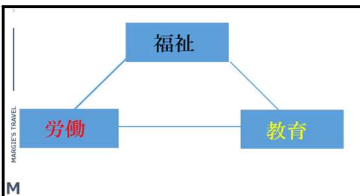
自由研究発表の集大成 代表生徒の発表そして表彰

3年生の授業参観では、総合学習で進めてきた自由研究発表の集大成として、6名の生徒のプレゼンが行われました。71もの発表の中から3年の生徒全員の投票によって選ばれたものです。発想や着眼点の素晴らしさはもちろん、発表ツールのパワーポイントの完成度、プレゼンテーション力など、優れたものばかりでした。

“自由研究大賞”に輝いたのは菅野巧海君(3-1)の『酪農家について』でした。酪農家の1日を調べ、その仕事の危険度も加味しながら仕事の大変さを伝え、クイズ（搾乳をしないと乳牛は死んでしまう）も交えて発表しました。そして、「酪農家には、体力・精神力・根気があり、自然と動物を愛し、臨機応変な対応ができる人が向いている」と締めくくりました。本来、総合学習は共通のテーマを設け、それに基づいた個別課題の調査や取材、まとめと発表という形をとることが多いのですが、今年度はコロナの影響から学習活動が制限されたため、3年生は個人毎の自由研究という活動になりました。この一連の学習を通して、テーマ設定の仕方、調べ方、発表資料の作成、さらには相手に伝える力など、様々な学び方や学ぶ力を習得できたことと思います。



他の5名の自由研究発表



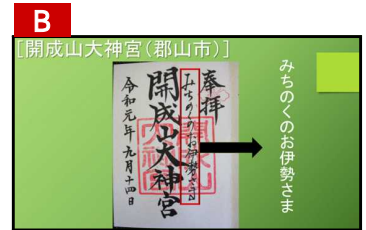
準グランプリの森山君の作品

※ これら入賞作品は後日
HPで詳しく紹介します！

3年総合学習自由研究発表“準グランプリ”には森山優太君(3-2)が選ばれました。『デンマークのGDPが世界一の理由』という社会的なテーマで、デンマークは福祉・労働・教育面の国の政策が充実しており、安全で自由な国の状態がGDP世界一に繋がっていると発表をまとめました。

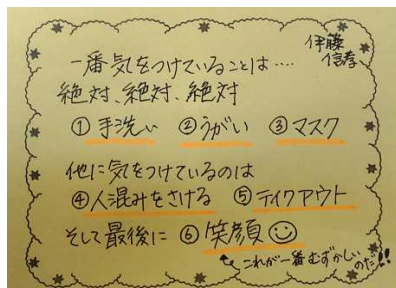
そして“努力賞”には次の4つが選ばれました。

- A 高田結衣さん(3-1)『ボーカロイド』
- B 安田悠人君(3-4)『御朱印について』
- C 前原 詩さん(3-3)『ヒカキン』
- D 齋藤大輔君(3-3)『芸人』



新型コロナウイルス感染症対策『一番気をつけていることは?』

保健室には“新型コロナウイルス感染症対策”についての掲示物が貼り出されました。保健委員会の生徒達が、感染症対策の基本“手洗い”について、実際に手洗いチェックをしたり、正しい手洗いの仕方を再度調べたりした結果をもとに作成しました。手洗いチェックでは、手洗い方法の診断に用いられる手洗いチェッカー(専用ローション)とブラックライトを使って、洗い残しの多い箇所などを調べました。全国の感染状況が悪化し、医療機関や保健所等が大変な状況になっている中、感染症対策の基本中の基本である“手洗い”を見直すためのとても良い資料です。また、教職員と保健委員の生徒達が記入した「感染症対策で一番気をつけていること」も掲示されています。先生方の中からいくつかを紹介します。



当然のことながら、教務主任の伊藤先生(写真)のように、手洗い、うがい、マスク、人込みを避けると書いている先生はたくさんいました。(伊藤先生の“笑顔”もいいですね!)

また、次のようなものもありました。

- ◆ 早寝早起きを心がけ、十分な睡眠をとる。適度な運動のため、こまめに動く。なるべく歩く。ストレスをためないよう趣味(良書を読む!)や笑いを取り入れる(作り笑いでも免疫力はアップするそうです)など寒さに負けない生活習慣を心がけている。
- ◆ バランスのよい食事 ◆ 白湯をたくさん飲む。生姜を食べる。 ◆ 殺菌力のあるニンニクを食す。
- ◆ ご飯をきちんと食べ、よく眠る。 ◆ 家庭内ではタオルは共有せず別々のものを使う。
- ◆ 古いストーブをリビングに出してやかんをのせて加湿している。
- ◆ うっかりハンカチ(清潔なもの)を忘れないよう気をつけている。 ◆ 外出の際は除菌グッズを忘れない。
- ◆ カバンや机の上に消毒スプレーを備え付けておくことでこまめに消毒できるようにする。
- ◆ GOTOトラベル関連のニュースは見ない。(行きたくなくなるから)
- ◆ 常に感染者となった場合の周囲への影響をイメージし、軽率な行動は慎む。
- ◆ 情報に振り回されないこと、医療従事者等への感謝の気持ちを持つこと
- ◆ 「今日の一日を大切に」を心がける。



「なるほど!」と感心する対策が書かれています。生徒、教職員、保護者の方々の全校体制で、気を緩めることなく感染症対策の徹底を継続していきましょう!

保健委員会の生徒のみんな、タイムリーな掲示物の作成、ありがとうございました!